

# 赤い靴通信 346号

発行：赤い靴記念文化事業団  
 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター  
 TEL 045-641-3066 FAX 045-641-1881  
<http://www.akaiikutsu.net> mail: akaikutsu@cameo.plala.or.jp

「いのち輝くマグネット神奈川」を標榜して数年前、黒岩知事が誕生しました。磁石のように人を引きつける魅力を持った神奈川と解釈しますが、かなり知事はこのことにこだわって、文化もマグネットカルチャーという造語を作り、マグカル局なる部門が文化をもつて神奈川のおもてなしを考えようということになりました。その推進役の知事が、私どもの2時間30分に亘る横浜市民ミュージカル・シアターを鑑賞されました。知事はミュージカルに造詣が深く、大学時代はミュージカル研究会に席を置いていたのだそうです。湯川れい子さんと日野原重明先生共著の音楽論で読んだのですが、日野原先生が訳したレオ・バスカーリアの「葉っぱのフレディー・いのちの旅」がステージになかなか取り上げられないのを、当時キャスターをされていた知事の努力で陽の目を見て、2006年には皇后さまにご覧いただきましたことを感謝していると書いてありました。知事になつてご自身が神奈川芸術劇場で「葉っぱのフレディー」を演出された二ユースも聞きました。今年の年頭のご挨拶にも芸術劇場発のミュージカルや市民ミュージカルの開催実現にも意欲を示したと新聞紙上でも拝見しました。

その知事が、私どもの横浜市民ミュージカル「おさん伝説」遙かなる時をこえて「に見えたのです。お三ノ宮・日枝神社にまつわる人柱の言い伝えを現代と絡ませた10回目の記念公演だったのです。感動した。泣いた。多くの人がアンケートにその言葉があふれていて私たちを単純に喜ばせてくれたのです。内容は、350年前、横浜の中区、南区の一部は釣鐘状の形をした入り江であつたのです。江戸で木材商、石材商を商っていた吉田勘兵衛氏はこの膨大な入り江を見てここを埋立てようと計画し台風などで何度も堰が壊れたり、苦難の連続の中、11年余りをかけて完成させ、幕府から苗字帶刀と神社の建立を許され、赤坂山王の日枝神社分霊を頂いて建てたのです。

その堰を止める手段として、いつしか人柱（若い女性を生身のまま土留めの柱代わりにすること）の噂が流れ、或いはお芝居になり、お三という女性が自ら人柱になつたと伝えられ、この神社を人は「お三の宮」と呼びその伝説は現代に伝えられているのです。人柱に類した伝説は世界中にあります。日本書記にも仁徳天皇が暴れ川で名高い淀川を制するため茨田堤を築きましたが、隙間を防げずに入れたところ、夢枕に武藏の国の大強頭と河内の國の杉子を人身御供として水神様に捧げよといわれ、杉子は逃げたが、強頭は埋められた。という記述があり、インドでもムンバイのワクラ池という生活用水にもなるのに水が溜らないので、村長が自分の娘を「いけにえ」にしたと伝えられています。出雲の松江城にも築城の時、石積が崩れるので人が柱になつた噂もあるのです。

今回の公演でアンケートが実際に多く寄せられていますが、後からFAXできたアンケートと同じような実話がありました。今回出演した中村安璃さんのおばあ様からで新潟の糸魚川発でした。近くの姫川の氾濫で行者が人柱になつて防いだ方の墓もあると言いました。上越市板倉では山崩れを止めるため甕に入つてこれ

**中区童謡の会 横浜開港記念会館**  
**2/24(水) ゲスト ひばりの会**  
 一般 999円 会員 888円 高校以下無料  
 歌詞集印刷のため 予約して下さい  
 TEL 641-3066 FAX 641-1881



今後のスケジュール

|   |
|---|
| 2/24(水) 中区童謡の会<br>横浜開港記念会館 2時～<br>合唱 ひばりの会一般 999円<br>会員 888円 高校生以下                |
| 3/12 東日本震災チャリティ<br>横浜駅西口県民サポートセンター 青隊・ATF／男声合唱団<br>出演、10:30～ 入場無料                 |
| 4/11日(月)～13日(水)<br>国際シニア合唱祭<br>ゴールデン ウェーブ in 横浜<br>シワクチャーズ 横浜出演<br>12日 Fブロック⑥4時6分 |
| 5/5 子どもの日コンサート<br>横浜みなとみらい大ホール<br>赤い靴ジュニアコーラス出演                                   |
| 7/10日(日) 杉田劇場<br>第29期あかいくつ定期演奏会<br>ATF,赤い靴ジュニアコーラス                                |
| 7月23日(土) 24日(日)<br>横浜市民ミュージカル<br>「ミケ・ラン・ジェロ」<br>3匹の猫の大冒険 関内小ホール                   |
| 8月20日(土)<br>インターハイネンタルホテル<br>25周年記念 アトリウム<br>赤い靴ジュニアコーラス出演                        |

上 カーテンコール後、黒岩知事さんが 賛辞を！  
 下 「おさん伝説」の一シーン

2016・1・31 団長 松永 春

磁石は本多光太郎先生のKS鋼なのです。それと出会つたりニアモーターカーも夢ではなくなつて実現の一歩を歩み始めました。その吸引力で神奈川に人を惹きつける、その一案としてミュージカル・シアターを開拓して、おもてなしをしたいという知事は、ニューヨークのブロードウェーのように、劇場でも野外でも楽しい演しものがいつも溢れ、内外の多くの人がこれを鑑賞に集まるよううな世界を夢見ているのです。実は私も同じ夢を見ていた一人なのです。

さて東日本大震災から5年目の春がやつてきます。当初から罹災されて神奈川に移住、あるいは仮住居を移された方々に少しでもお力になりたいと努力している方々に賛同し、3月12日(日)西口の県民サポートセンターで10時30分よりテンダーフットと青隊。そして、横浜★男声合唱団が合唱で参加します。入場無料。ヨドバシカメラの川を挟んで隣です。

を鎮めた僧侶の話も書かれていました。お電話で確認させていただいたのですが、民話、伝説の宝庫ともいわれる新潟で掘り起こしては綴り、発表されておられる方で大変な研究者でした。新潟からお孫さんの舞台を見に来て、全体の話の持つて行き方と現代に絡ませる手法をほめたたえ素晴らしいミュージカルに出会つたと感動されました。